
らくがきノート

とーよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

らぐがきノート

【ZPDF】

Z3076Z

【作者名】

ヒーム

【あらすじ】

ヒームの「らぐがきノート」

『ハムスター』

今まで合計5、6匹飼つた。もづ、全員死んでいる。天国で俺を応援していると思う。

あれは、非常にカワイイ。

毎回、口の中に入れていた。カワイイ過ぎると、口の中に入れたくない。

口から出すと、また、カワイイ顔をしている。

また、口に入る。

アクビをしているのがカワイイし、ひまわりの種を、沢山口の中に入れて、自分の好きな所に持つて行くのがカワイイ。

しかし、死んだ時が可哀想なので、動物は飼わない様にしている。

しかし、ハムスターはカワイイのである。

映画を撮りたい。

ホラーが良いと思っている。甘口的な、短い話を沢山入れるパターンで攻めたてやろうと思っている。全10話からおりだす、不条理にも、恐ろしい話をやつてやろうと思っている。

ただ、オバケは全部俺がやろうと思っている。1話だけ俺が主演なので、その時はお母さんがオバケをやればいいと思っている。

お母さんは良いヤツなので、きっと参加してくれると思つ。

台本は俺が書く。

「ハイ！カット！」の（カチン）のヤツも俺がやりたい。

でも、俺が出るシーンの時は（カチン）と、やつて、すぐに自分の位置にスタンバらなくてはいけないので、忙しいと思つ。

主題歌は俺が唄つ。

2番まで興あつと思つていてる。ハーモニカのソロも入れたい。

映画を撮りたい。

でも、色々、大変である様には思つた。

小説とは、なんと楽なものだろつ。カメラも、機材も、人件費も、場所代もいらないどころか、家から1歩も出る必要もなく、1人で、家で、自分の部屋で、作る事が出来るのだから。

ミスツ ても役者に注意をする必要もなければ、撮り直しで、無駄な時間を掛ける必要もない。

消去ボタンで、いくらでもストーリーは変更可能である。

しかし、映画は撮つてみたい。とーよー映画を世界に知ら示めたい。早く、世界のとーよーになりたい。

でも、英語はハローとかしか分からないので、とりあえずは日本語で頑張つてみよつとは思つてゐる。

スマップに入らうと思つてゐる。

ただ、ビストロの時、チーム人数が、3対2になつてしまふので、そこを悩んではいる。

まさか、ナカイ君と一緒に司会をするわけにはいかないが、キムラ君、カトリ君、トーヨー君チームに、クサンギ君、イナガキ君ペアーが勝てるわけはないので、まだ、そっちの方がいいかなー等とは思つたりしている。

昔はスマップのメンバーはもう1人居たが、レーサーになつてしまつたので、ソロソロその穴を誰かが埋めなければいけないわけで、それなら、まあまあ顔がカッコイイ方の俺がといふ気持ちで、一筆書かせて頃いている。

ナカイ君の司会業や、キムラ君のドラマ、クサンギ君のジーンズなど、それぞれの個性をかき消さず、また、自分自信もこれまでのスマップをさらに良い形へと導いてゆけたら、これに勝る喜びはない。

やはり、これからのおアイドルは、歌やダンスだけではなく、バラエティーなどでも、ドンドン、自分を前に出してゆかなければならぬいわけで、そこで勝ち上がつたジャニーズ最強チームSMAPだからこそ、後から加わる者としては幾分かのプレッシャーを感じていらる。

無論、世代的には、嵐や、KAT-TUNに入つた方が自然なのだろうが、それは難しい様に思った。

嵐は非常に仲が良い。ジャニーズメンバー特有の、ギスギス感が無い。が、しかし、逆に、あれだけ、チームワークの出来上がつたメンバー内に加わるのは難しく、溶け込んでいけるかが不安である。

そこら辺は、サクライ君や、ニノミヤ君が、フォローしてくれるかもしれないが、マツジュンと喧嘩にならないかが不安であり、アイバ君が「やめろよー」等と言つて、間に入つてくれれば助かるが、オオノ君は何も言つてくれない様な気がする。

でも、それは、逆に、俺がメンバーに入る時も「まあ、べつに、いいんじゃない」くらいの感じで認めてくれそつて、そこを考えると、嵐が良い様には思えるが、やはり、あの、完成されたメンバー内に食い込んでいくのは難しそうであり、それならKAT-TUNはいかがなものか。 と、考えてみよう。

…うん。

これは、いいかもしれない。

スマップのメンバーがレーサーになります事件同様、KAT-TUNはアカニシ君の穴を埋めるという意味でも、協力出来る様には思つた。

ただ、アレだけのイケメンメンバーに入つてみるのは、いかがなものだろう?

ハードルが高い。
俺の趣味が無い。

こうなつたら、タッキー＆ツバサ＆トーヨーにしてしまっても良いが、それなら、キンキキッズ²にし、堂本とーよーになつた方が楽しそうだし、TOKIOのハーモニカ担当をしてても良いし、思い切つて↙↑にしてしまつても良い。

どこにでも、食い込んでいけるスペースはあるが、とりあえずSMAPに入ろうと思つている。

『メモリカード世代』

ゲームは好きである。

一時期はファミコン、スーパーファミ、ロクヨン、DS、PSPに、プレステ1、2と、メジャー所はすべて揃えていた。

メモリーカードの開発によつて、今でこそ、セーブが消えてしまうといった最悪極まりない事故は、ほぼ壊滅状態となつたが、俺がガキの頃なんてのは、そりやー、ドラクエの差し込まれたスーパーファミ本体を、恐る恐る動かしていた世代であつて、協会で【ゲームをやめる】を選び、リセットを押しながら、ゆっくりスイッチを切つていた世代であつて、近くでお母さんが掃除機を掛ければ、コンセント問題が気になつた世代であつて、1発で機能しなかつた後の、カセット内部への息の吹き掛け後のドラクエのスイッチングのドキドキ感や、あの、最悪のセーブが消えましたよメロディー、または、それさえも無く【ぼうけんのじょうをつくる】しか表示されなかつた時の、あの放心状態…その後…数日は、ドラクエの話題にすら、触れたくないといった疎外感など、セーブの大切さを何一つ分かつちゃいない今の小、中、学生、すなわち、メモリーカード世代！…なんてのは、そりやー、俺達スーパーファミ恐る恐る世代からすれば気軽だと考えられても致し方ないわけである。

PS2、もしくは3を、プレイ中に、少し邪魔だな～くらいのワガママな理由で、縦にしたり、横にしたり、挙げ句の果てには、DV

Dディッキに乗せてみたりと、俺達の時代には考えられなかつた事である。

有り難さを噛み締める。

感謝の気持ちを忘れるな。

そして、バカにするのもいい加減にしておけ。

モンハンや、鉄拳のグラフィックを当たり前だと思うな。

変にリアルを追及し出した頃の、プレステ1辺りの、不自然なカクカク感や、初期のバイオバザードが下手なヤツがプレイした場合いの、壁に沿つた変な動きを知つてはいるのか！

リアルなグラフティーに、細かい開発が追い付いていない頃の、体が半分壁にのめり込んだ日々を経験していないだろ！！

ゲームボーイの1番初めの、白くて、大きいヤツを、バカにするな！！！

パスワードをノートに書く努力を知らない輩に知つた様な口を聞かれてたまるか！！！

古い人間だと言われても仕方がないが、個人的にはWiiをゲームだとは認めてはいない。

あーいった、自分の動きをリアルに体感出来るといった様な、余計なシステムは認めるわけにはいかない。

コントローラーが縦でも、横でも、さらには持つても使えるといった様な、余計な部分でのバリエーションをひけらかすな。

任天堂はマリオにばかり頼るなー、ゴルフやレース、はたまた！テニスなどをさせるな！

あいつは、横スクロールで、キノコや金を取りながら、時間に追われ、右へ右へと進んでゆくのが基本であつて、決して、プロペラで飛ぶ様なヤツでは無かつた。

任天堂もそつだが、メモリーカード世代に向けてこれだけは書いておく。

インベーダーからやり直せ。話は以上である。

『カラオケ』

カラオケは好きだ。

そもそも唄う事が好きである。

俺は大体唄っている。

最近のカラオケは、3時間パック、500円的なものも多いので非常に良い。

システムもたいへん良くなつた。昔の様に、分厚い、タウンページ的な本から探す必要はない。

お気軽、お手元、コンピューターで、ピピッとやれば、ピピッと出るので、非常に、便利に、良くなつた。

カラオケを作つた1番エライ奴を褒めておきたいと思つ。

が、しかし、余計なものも大分増えた様には思つ。

普通に画面の文字を見ながら唄いたいのに、文字が動き出すシステムは余計でしかない。

「ひー、るー、いー、うー、ちゅー、うー、のー、かー、ずー、あー、るー、ひー、とー、つー」と、1つ1つが旗になつてしたり、寿司になつてしたり、はたまた、Tシャツを着た人間達が順番に走

り出したりと、余計な事はしないで頂きたく、あーいったものは、非常に読みにくいだけの話であって、2番はまったく唄えなかつたりする。

また、そういうた変な部分で、個性を發揮しようとした考え方自体が、そもそも間違いであって、グリーンのキセキは、歌が始まるまでの野球のドラマ的なものはござらないのである。

画面関係に力を注ぎたい気持ちも分からなくはないが、それなら、新しいものではなく、過去のものを見つめ直して欲しくは思う。

歌と絵がマッチングしていない問題の改善を早急に要請しておぐ。

バーラードを踊つていいの、元モップを持つて踊り出すヤツ。

アニメソングなのにユニークな雰囲氣でチンピラに終われる//」
ン。ト

そして、曲に、ドラマの長さが追い付いておらず、古めかしい恋愛ドラマが2週目に突入するといった様なトラブル、ナドナド、とりあえず、曲に対する映像へのマッチングリメイクが成されておらず、あーいったものを、もひとつ、修繕出来れば良くなる様には思った。

マイク問題にも一筆投じさせて頂くが、2つのマイクスイッチを入れた場合の、キーンっとなつてしまつ問題を解決しなければならないわけで、あれは友達と1ページずつ唄うパターンの際に、自分の番ではない時の、スイッチを切り、付け、切り、また、付け、と、非常に忙しく、つこでに、食べ物メニュー問題も片付けてはおぐが、そこに關しては単純に、値段の高さのみに目を向けさせて頂き、フ

ライドポテトの400円とはなんだ！コーラの260円とはなんだ！ポツキー300円等はバブルの余韻の現れでしかない！…と、書いておきたいと思つ。

そして！…部屋の明るさ問題に関しては！…プライバシーを配慮するという意味でも、コチラで調整が出来る部分は良いし、あれがあるからこそ、ラブホ代のないアベック達は、多少のお楽しみが出来るわけはあるのだが、ただ、トイレに行つたあと、自分の部屋番号ウツカリ忘れ事件からの、テンパリ部屋探しの、関係ない奴の部屋をマジマジと見なくてはならない事件からの、スマーケ貼られ問題からの、オデコをガラスに付けます問題からの、しかめつツラ問題からの、知らないヤツと、お田めが合つちゃう問題が起き、そこまでして、ようやく違う部屋と分かった時には、すでに中では、笑い者問題になつてゐるわけである。

これはいけない。
どうにかしたい。

また、カラオケ内での他人との接触という意味では、隣の、部屋の、カベ叩き問題は、暫し発生する自体であつて、俺、とーよー、個人の場合い、一度それが行われると、歌よりソチラに夢中になつており、気付くと3時間パックの内、2時間程度を持つていかれたりはしている。

世の中には様々な問題がある。焦る必要はない。大きな事より、小さな問題をコツコツと、継続的に、片付けてゆく力こそが、明日の日本を変えてゆくのです。

『コーラ』

世界1好きな飲み物である。

ショコショコ感がたまらない。酒はまずい。ビールは苦い。のどごしとか言わないで欲しい。のどごしが「コーラの方が勝っている。

すぐに、おばあちゃん的なヤツラは「コーラは骨が溶ける」といつた説を言いたがる。

コーラを悪く言つるのは許さない。ファンタだつて、シーレモだつて、同じくらいに骨が溶ける。なぜ、コーラばかりを骨が溶ける代表の様に言つたがるのか分からぬ。それに、あんまり、溶けないとも思つ。俺は昔からいっぱい飲んでいる。骨が溶けた事はない。今もある。骨があるから、指が動く。指が動くから、携帯電話のボタンが押せ、文字が打てるのであって、肉だけならば、フニャフニヤなので、作家には向いていない様に思つた。

小5、小6、辺りで、一時シーレモに走つた事がある。その後ライフガードを覚え、また、コーラに戻つて来たといった感じである。

それからは、ずっとコーラだ。

俺はコーラが好きなのだ。

『天皇陛下』

天皇陛下になりたい。

ただ、なれない。
才能は関係ない。
実績も関係ない。
運だけしかない。
不利な様に思う。

どうすればなれるのかは分からないし、なる方法がないのだ。

求人雑誌には載つておらず、だから、一ートを続けていっているという部分はある。

天皇陛下の募集があれば、すぐにでも出向くつもりだ。

しかし、なかなか、大変な様には思つた。

「バンドを組みたい」とか言い出せない様な気がする。

音楽は三味線やバイオリン的なものしか許されない気がする。

パンクロックやヘビメタは許しが出ないと思つた。

ジイ的なヤツに「坊っちゃん、そんな野蛮な音楽はいけません。父上が知つたらなんとおっしゃるでしょ? モーツアルトを、お聴

きなさい」と、言われる気がする。

テレビも若手のコンタクト漫才は許されないと思ひ。

落語を堪能するくらいが最高のエンターテイメントとの触れあいであり、家出とかは絶対に許されない様に思つた。『法度だと思ひ。やつてもすぐバレると思ひ。』

「あー天皇陛下だー」みたいになつて、SP的なものが連れに来るのがだらうと思ひ。

愛子もまは可愛い。

可愛くはないが、ブスクレている部分が、非常に可愛い、あれはブサカワの一種だと思ひ。

全然二口やかさがない。
ひねくれている。

無表情で、愛想がない部分が可愛いのである。

マサコ様は美人である。

離婚したら付き合つたいと思ひ。

旦那さんは大した事ない。

喧嘩も弱そうだ。

車に乗り、ゆつたり、良さ気な、雰囲気で、右手を振れば、仕事は完了くらいの考えが甘つちよろく、ボクシングとかを習えば良い様には思つた。

ただ、國家権力的なものは、有ると思うので、あまり悪く書くと、日本に抹殺される恐れがあり、そこまでは悪く書かないではいいよつとは思つ。俺はココラ辺の見極めがナイスである。

アメリカに戦争を仕掛けたりはしないので、次の天皇陛下には是非、俺を起用してくれたら嬉しく思つ。

ただ、弱小な国はドンドン潰し、日本を大きくしようと思つ。もうとアメリカと仲良くしないでいけない。

とりあえず、オバマの直アドは無理であつても、サブアドへりいは知つておかなくてはならず、絵文字を使い、世界発展の話題を軸に、潰して欲しい国を、それとなく、吹き込んでいけば良い。

北朝鮮は危ない。

ミサイルを撃つて来た。

当たりそうだった。

当たつたら死ぬので、そういうのは止めて欲しい。

マックスに眠い時は最強に眠い。

5時間目で起きてやります。

ガクン となる。
ビクン となる。

いっしゃん、崖から落ちる感じになってしまつ。

あれは床屋さんでもなる。

帰つて爆睡しようと予定を立てるが、帰つた時にはすでに全く眠くなかつたりする。

眠さの時間は操れない。

どうしようもない。

「タツで寝たい。」

でも「布団で寝ないと風邪ひくよ」、へいへいお母さん世代の決まり言葉がある為、なかなか思い通りに、「トコロは運がなーい。

譲る部分は譲らなくてはならない。

まつたく困ったものだ。
俺はコタツで眠りたい。

そもそも「コタツで寝たら風邪をひく」といった様な理論はビリ考
えても成立せず、きっと…「夜中に爪を切ると親の死に日に会えな
い」くらいのテンションで作られた言葉だと思つ。

コタツで寝ても風邪はひかない。逆に治る。布団より暖かいのだから、そりやー治るに決まつている。

眠い時はコタツで寝ればいいのである。

べつに、信じてはいない。

めざましテレビの、かに座が何位なのかは気になる。

ラッキーアイテムの赤い靴下的なものは、大体持っていないので、対処しきれてはいない。

たまに聞くのが「良い事は信じるけど、悪い事は信じない」と、そんなに、都合の良い考え方も出来ないながらに、かに座が1位の時は、ウキウキ気分になってしまい、スキップをしてしまう。

ビリの時は、「オマエ等、コトキに、かに座の順位なんてもんを、決められてたまるかーー！」と、いった気持ちになってしまふ。

どうせら、俺こそ、都合の良い人間の様である。

《イベント》

クリスマスだの…。

大晦日だの…。

お正月だの…。

といつあえず、12月の終わりから1月の初めに掛けて、片寄り過ぎである。

大晦日とお正月は仕方ないにしても、なぜ、クリスマスまでもが、そんなに近い日付けで行われなければならない。

キリストが死んだ日にちなど、どーセ嘘なのだから、真ん中の6月辺りに食い込ませてしまえばいいではないか。

なにを、12月24日といった様な、12月の後半ばかりを忙しくギュウギュウ詰めにしてしまったのか分からない。

バランスが悪い。
考えた奴は誰だ。
ぶつ飛ばしてやる。

正月を迎える、あけましておめでとうございます 等と、言われても、

何がめでたいのか、分かつた事もなければ、オセチや、ゾウニや、年越しソバを、無理して食う必要もないのであつて、カズノコなんてもんは、1年通し、毎日、美味しい。

全体的に、今回は特別ですよ…的な雰囲気はいらないのである。

まあ、日にちの問題もあるが、そんな事より、それらに釣られ、色々やりだす人間の方に、バカ差加減を感じてしまう。

クリスマスの予兆が長い。

12月を少し過ぎれば、スーパー・マーケットではジングルベルが流れだし、定員さんはサンタの帽子を被り出す。

俺は大人なので、全員偽物だと知っている。

別に、サンタに、成りきつた所で、普段と変わらぬレジ打ちをされれば話にならないわけで、そこは、魔法の演出を加えるなり、買った品物が宙に浮くなり、一工夫加えて頂きたい。

26才になつた今現在、恋人のいないクリスマスもそうだが、お年玉を貰える年齢でもないので、正月も大して楽しみではない。

良い年越しを。

特に熱狂的なファンといつわけではないが、トモちゃんがカワイイ。

他は名前も覚えていない。

そのくらいに、トモちゃんだけを、カワイイと思ってしまう。

多少、うつぽいというか、ヒネクレているというか、ムスッとしているというか、ズケッとしているというか、ナントナクの尖りが見え隠れしており、そこが非常に可愛いのである。

愛想笑いが下手である。無表情である。ツンとしている。キュンとしてしまう。

キヤピキヤピの、いかにもアイドル的な人物は、どうも、昔から、好きになれない。

ちょっとクセのある様な人間の方を好きになってしまう。

俺自身は、今現在、世間が地デジつてしまつた後は、ヘンテコリンなウィルコム携帯以外からの、電波を受け取る事の出来ない人間になつてしまつてはいるが、果たして、あの、スーパー・ビック・アイドルグループの中で、ちゃんとやつていているのかどうかが不安で

ある。

ヤンマガのカラーページには載っていた。買つてしまつた。

立ち読みでは済ませれる可愛こことはなかつた。

買つてしまつたが、インタビュー的なものや、コメントチックなものは掲載されていなかつた。状況は分からない。もしかしたら、AKBを辞めてしまつたのかもしれない。ソロかもしれない。それでもいい。俺は好きだ。

しかし、多分、付き合つたりは出来ないと想つので、早田にあきらめようとは想つ。

『金持ち』

金持ちになりたい。

ビルゲイツに会ってみたい。

ビルゲイツは世界1の金持である。友達になれば、100万円くらいは簡単に貸してくれそうだと思う。返さなくても、うるさくは言わないと思う。そういうヤツではない。ビルゲイツは、小さな事は、気にしない。

仕事は何をしているのか分からぬ。でも、ビルゲイツは凄い。

毎日ステーキを食べていると思う。ワイングラスを持っていると思う。猫を抱いていると思う。

携帯が止まつたりはしないと思う。

灯油を入れる時が一番寒い的な悩みはないと思う。灯油を入れる係の人は、ちゃんと別にいると思う。

布団を横にしたら足がハミ出るといった悩みもない。ビルゲイツの布団は大きい。足はハミ出ない。

毎日ステーキを食べている。猫を抱いている。顔の周りが、フォワントなつていてる猫だと思う。

王様みたいな家に住んでいるのだと思う。

セキスイハウスではない。大きな門がある。見張りもいる。左右に見張りが24時間立っている。

ビルゲイツに逢いに行つても、ソイツラに追い返されるので無理だと思う。

少し金を分けてもらいたい。

100万円が欲しい。

俺は金持ちになりたいのである。

『寿命』

人間の平均寿命はどんどん伸びている。

江戸時代のヤシラは40才くらいで、すぐに死んでいた。

ガンになれば終わりだった。いまは早期発見なので、早目に対処すれば問題ない。

今現代、世界の平均寿命は、女性85才、男性80才くらいである。

悪くはない。

倍くらいにまでは増えた。

オレラの世代で、さらに、倍の、160を狙いたいと思っている。

俺は毎日死にたくない。

理由は楽しいからだ。

まだまだ、見ていない映画や、やった事のないゲームが沢山ある。

これからも出来て来る。

小説だつて面白い物がある。未来ではもっと面白いものが見れる。

俺も、面白い物を作りたい。その為には長生きしなくてはならない。

目標は200才だ。そこだけはどうにか達成させたいと思つて いる。

死んだハムスター達に逢えるのは、まだまだ先の様である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3076z/>

らくがきノート

2011年12月31日20時49分発行